

製造現場向け時間管理セミナー

実践ワークショップ

座学の学びを「現場の即戦力」に昇華させる2つの体験アクティビティ

全体スケジュールと配置計画

本番セミナーの進行を止めず、理論をすぐに実践練習できるベストタイミングで配置します。

プログラム内での配置イメージ

2. ワーク 1

【マイ・ABCD分類】
各自の実際の今日のタスクをABCD
に仕分ける10分のワーク。

4. ワーク 2

【突発事態の判断基準】
トラブル同時発生時に優先順位を
議論する10分の実戦ワーク。

1. ABCD法講義

Chapter 1 & 2で「重要度と緊急
度」「優先順位のABCD」を深く学
び、頭の中を整理します。

3. 計画と準備講義

Chapter 3～5で「バッファ構築」
「バッチ処理」「手戻り排除」の理
論と技術を学びます。

ワークショップ 1 の基本設計



ワークの目的

実際の業務を分類することで、講義を「自分ごと」として捉え、明日からのシフトの質を向上させること。



所要時間 (計10分)

- ・ 個人ワーク：4分
(各自書き出し & 分類)
- ・ ペア共有：4分
(AとBのタスクの共有)
- ・ まとめ：2分



実施タイミング

Chapter 2「優先順位を明確にするABCD法」講義の直後に実施します。

「マイ・ABCD分類」の実施手順

- **タスクの書き出し (2分)：**メモ用紙に、本日（または明日）自分がやる予定の業務（点検、報告書など）を5～6個書き出します。
- **ABCDマークの付与 (2分)：**安全・品質に関わる「最優先A」、重要だが急ぎでない「計画的B」、状況対応「C」、保留「D」に分類します。
- **ペアで相互共有 (4分)：**隣同士で、「自分のAのタスク」と「後回しにしがちだが進めたいBのタスク」を紹介し合います。



ワークショップ2 「突発事態シミュレーション」

「安全・品質・生産計画」の3つの判断基準を使い、同時多発するトラブルに対する優先度判断を訓練します。

ワークショップ 2 の基本設計



ワークの目的

突発事態において「安全・品質・生産」の判断基準が、頭の中で瞬時に機能するかどうかを実践的にトレーニングすること。



所要時間 (計10分)

- ・ 状況説明：1分
- ・ 個人判断：3分（メモ記入）
- ・ ペア／グループ討議：4分
- ・ 講師による解説・まとめ：2分



実施タイミング

Chapter 6「突発事態が発生したときの3つの判断基準」の直後に実施します。

シミュレーション：同時発生する3つのトラブル

次の3つの事態。あなたならどの順番で動く？

事態 ①

安全通路に「油（オイル）」が1mにわたって流れているのを発見した。

事態 ②

製品寸法が規格の上限ギリギリ。放置するとまもなく不良品になる懸念がある。

事態 ③

他部署リーダーから「納品予定の資材が1時間遅れる。今すぐ相談したい」と声をかけられた。

模範判断とその論理プロセス



第1優先：【事態①】（安全への影響を最優先）

理由：油の放置は、他作業員の足滑り転倒や機械への巻き込み事故など「重大な労働災害」に直結します。何をおいてもまず応急対処、または立ち入り制限を行います。



第2優先：【事態②】（品質への影響を次に防止）

理由：品質規格オーバーを放置すれば、まもなく大量の不良品を流す「大口スの手戻り作業」が発生します。安全確保後、速やかにライン調整や上司報告を行います。



第3優先：【事態③】（生産計画は状況に合わせて）

理由：資材遅れは大きな課題ですが、到着までに「1時間」の猶予があります。目の前の安全・品質処置をわずか数分で終えてから、落ち着いて協議する方が全体ロスを最小化できます。

| ファシリテーター（講師）のメッセージ



現場のトラブルはいつも突然、重なってやってきます。パニックになりそうな時こそ、今日の原則を思い出してください。

「1. 安全、2. 品質、3. 生産計画」。この軸がブレなければ正しい初動が取れます。

— セミナーまとめメッセージ



ご質問やカスタマイズ

本構成案をもとに、実際の現場課題にあわせたシミュレーションの調整が可能です。

研修企画チーム | info@timemanagement-seminar.jp